



グリップヒーターHG SLIM 取り付けについて E08Z51K88S1

適合車種：SUPERCUB110 (2BJ-JA44)

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

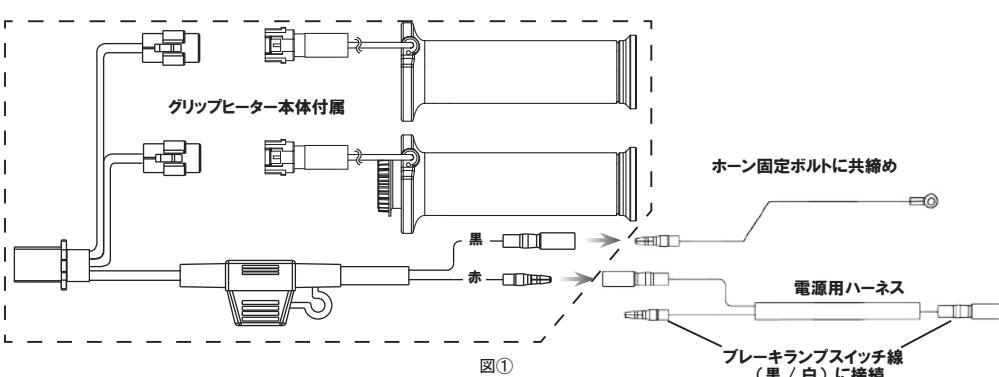
●接続する前に

車両のサービスマニュアルを参考にしてバックミラー、フロントカバー、アッパーハンドルバーカバーを取り外します。

写真①を参考にして、ブレーキランプスイッチのギボシの位置を確認しておきます。

①配線の接続について

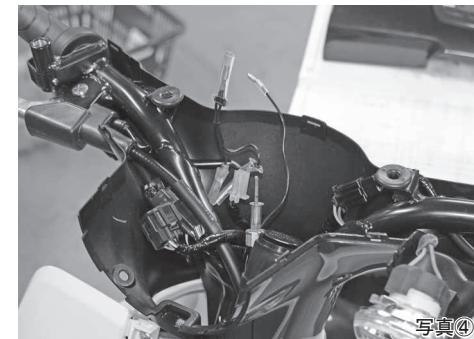
付属している電源用ハーネスを車両のブレーキランプスイッチのギボシ接続部に割り込ませて接続します。また、ホーンを固定している部分のボルトを一旦外して、付属のアース線を間に挟んで（写真③）から共締めします。アース部は塗装をヤスリやサンドペーパーで剥がしてから取り付けします。このとき、左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。問題無く動作すれば、グリップとスイッチは一旦外します。



それぞれの配線を接続したら、写真④のように電源線とアース線を取り出しておきます。



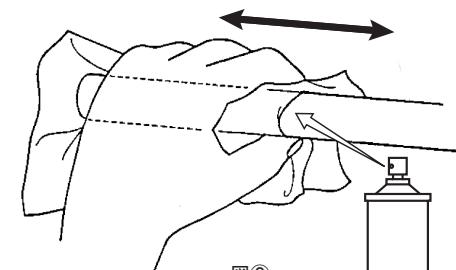
写真③



写真④

②左グリップの取り付け（参考例）

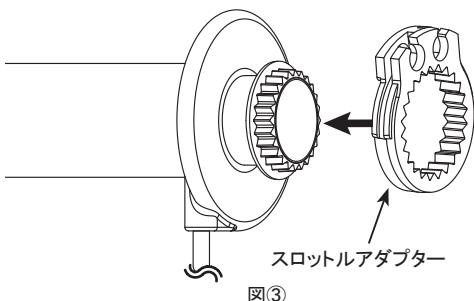
純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていた部分に付着しているボンドをパーティクライナーなどできれいに取り除きます。グリップヒーターの配線位置を間違えないようにグリップヒーターを差し込みます。このとき、グリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。



図②

③右グリップの取り付け

純正グリップ（スロットルパイプ）を取り外します。同梱のスロットルアダプター“C”を一体型グリップヒーターに取り付けします。（図③）このとき、アダプターはスロットルワイヤー取り付け用の切り欠きがある側を外側にして取り付けします。（写真⑤）



図③

いたん仮組みをして、スロットル操作、ブレーキ操作などを行い、各部が干渉しないかどうか確認します。アダプターの位置を動かして、適切な位置で固定します。

また、本商品を取り付けすることで純正に対して、約13%のハイスロになります。取り付け後は必ず、スロットルケーブルの遊び調整を行ってください。

※グリップヒーターに付属している樹脂スペーサーは使用しません。



写真⑤

●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に1分以上は暖めないでください。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

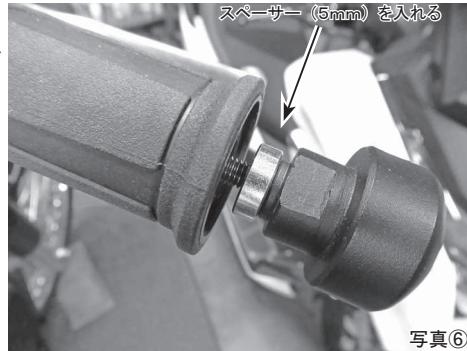
※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離した状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

④バーエンドの取り付け

左右共にグリップヒーターの取り付けが終わったら、バーエンドの取り付けをします。純正グリップ長に対して、本商品のグリップは約5mm長いのでバーエンドを固定する際に付属の専用スペーサーを左右とも1個づつ入れてからバーエンドを固定します。(写真⑥)

※このとき、スロットル操作に問題が無いか確認して、スロットル全開状態から、手を離して確実に全閉に戻ることを確認してください。



写真⑥

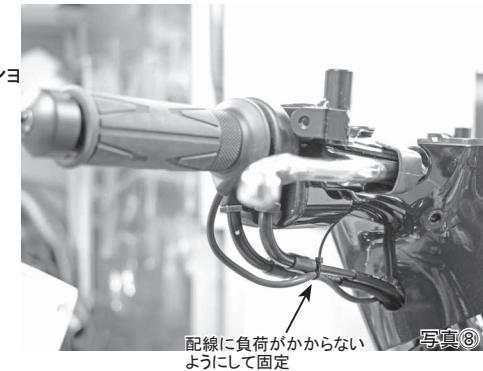
⑧取り付け完了

取り外したカウルなどを元に戻す前に、イグニッションキーをONにしてグリップヒーターの動作確認をします。

問題なく温まったら、カウルを元に戻して取り付け完了です。

●構成部品●

- 専用スペーサー・・・2個
- 電源ハーネス・・・1本
- スロットルアダプターC・・・1個
- アース線・・・1本
- 取扱説明書・・・1部



写真⑧

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
endurance-parts.com

2020.03.30

⑤カウルの加工

写真⑦の白く塗られた部分をスイッチの配線と左グリップの配線が通るように加工します。

⑥スイッチ部の取り付け

スイッチの配線は左グリップと同様に先ほど加工したカウル部から配線を通すようにして別途ステーを購入して固定するか付属の両面テープでハンドルカバー部に貼り付けて固定します。また、ワインカーなどの操作の邪魔にならない位置に注意して固定します。



写真⑦

⑦配線のまとめ

それぞれの取り付けが終わったら、車両のハーネスなどに沿わせながら、左右グリップ、スイッチの配線を通してグリップヒーター・ハーネスのカプラーに接続します。

配線の長さが余ってしまっている部分はタイラップなどでうまくまとめて固定します。
→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに力がかかるっていないか、ハンドル操作の邪魔になっていないか確認します。